

ファシリティマネジメント I

第一回 はじめに

本江正茂

2006.4.10

●担当教員

本江正茂

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻助教授

motoe@mac.com

<http://www.motoelab.com/>

●年次・学期

ファシリティマネジメントI / 3年 前期 (選択) 月曜日5限 (16:10-17:40) @413教室

●講義要綱

ファシリティマネジメントとは、一般に「企業・団体などの施設や環境を、経営的視点から総合的に企画・管理・活用する経営管理活動」*とされている。本講義では、その概念を拡張して、さらに射程の広いより一般的な問題として、ファシリティマネジメントを考える。

企業活動に限らず、どんな事業に際しても、機材、スペース、人間、時間、情報など、あらゆるリソースは無限ではありえない。この限られたリソースを最大限に活用し、事業を推進していくためには、物理的な建築空間と、形をもたない情報システムとを有機的に連動させながら、総合的視野のもとにコントロールしていく技術が必要である。その手法としてのファシリティマネジメントの基礎を学ぶ。

●日程

1	2006年4月10日[月]	はじめに
2	2006年4月17日[月]	人口が減少する社会で
3	2006年4月24日[月]	FMの射程
	2006年5月1日[月]	(憲法記念日のため休講)
4	2006年5月8日[月]	発表と討議 (居候問題)
5	2006年5月15日[月]	日本の建設業
6	2006年5月22日[月]	FMerという仕事
7	2006年5月29日[月]	人間
8	2006年6月5日[月]	社会と環境
9	2006年6月12日[月]	法規, リスク, 安心と安全
10	2006年6月19日[月]	ファシリティの評価, ディベートについて
11	2006年6月26日[月]	宮城大学本部棟裏まわりツアー
12	2006年7月3日[月]	ディベート, 期末レポート出題
13	2006年7月10日[月]	(予備日)
	2006年7月17日[月]	(海の日のため休講)

●評価方法

原則として出席はとらない。

期末のレポートを評価の主材料とする。これに、宿題の提出および授業中の発表討議状況を加味する。

レポート等は実名でWWWで公開することがある。

●教科書・参考書

教科書：特になし。

参考書：

FM推進連絡協議会編「総解説ファシリティマネジメント」日本経済新聞社、2003

ファシリティマネジメント資格試験研究会編『ファシリティマネージャ資格試験問題集 平成18年度版』井上書院、2006

FM推進連絡協議会編「ファシリティマネジメントガイドブック第2版」日刊工業新聞社、1998

授業では、原則として毎回ハンドアウトを配布する。ハンドアウトは各回授業終了後に本講義のwebサイトに置くので、欠席した場合などはダウンロードすること。研究室に取りに来ても予備はない。

●宿題1

次回までに、自分の住んだ住宅の各階平面図(1/100)を作図してくること。A4用紙。学籍番号と氏名、提出日を明記すること。

現在住んでいる住宅でも、以前住んでいた住宅でもよい。ありありとその住宅の様子を思い浮べることのできる住宅を選ぶこと。単身ではなく、家族で暮らした経験のある住宅がのぞましい。部屋名は、当時実際に呼ばれていた名称を記入する。

製図に慣れていない場合は簡単な間取り図でかまわない。